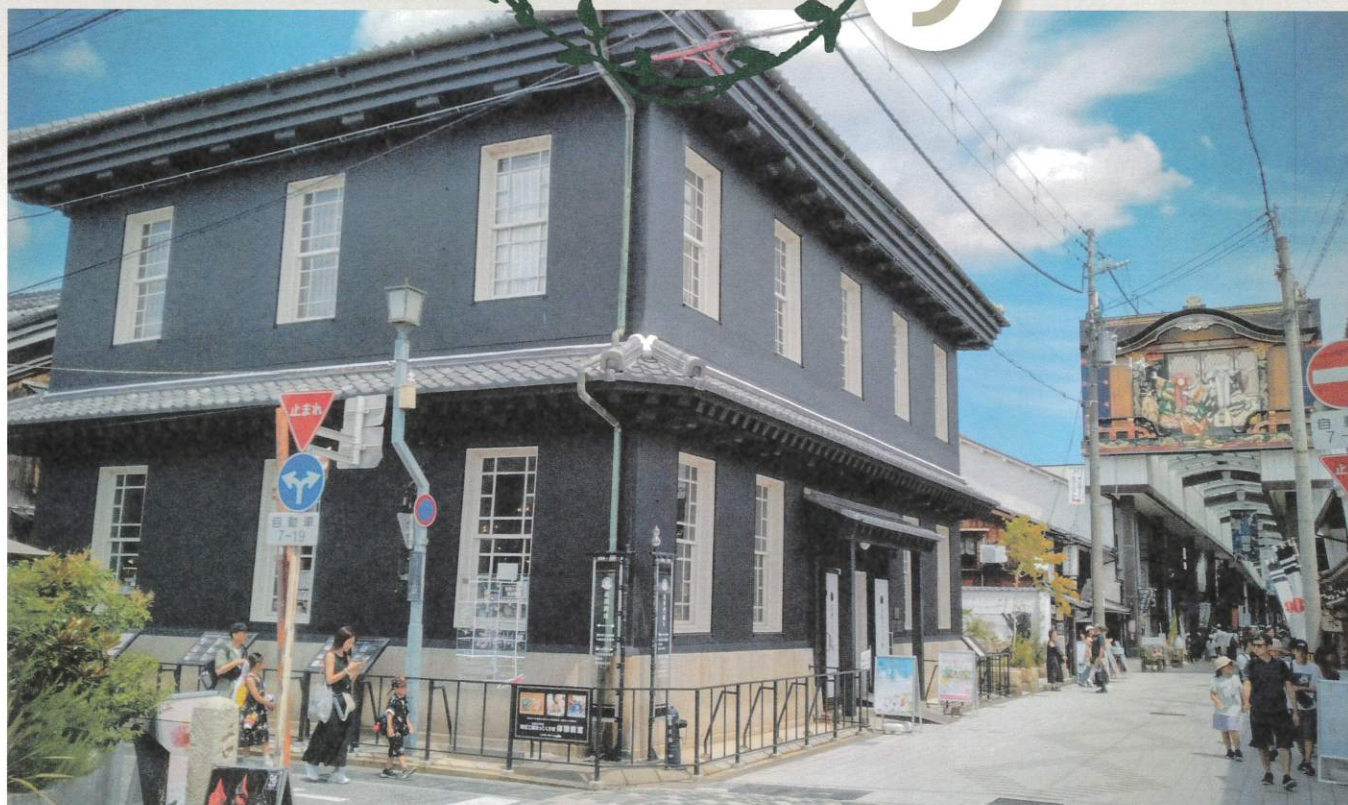


〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
発行人 山崎 哲
編集長 仲井 真裕
印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



大悲に生きる人とあう
願いに生きる人となる



黒壁スクエア(滋賀県長浜市)

西徳寺の予定

9月

- 3日(水) 午後2時 評議員会役員会
6日(土) 午後2時 総代会
13日(土) 午後5時半 同行会「和讃」に学ぶ
法話: 深澤 見弥
17日(水) 午後1時半 婦人会聞法会
20日(土)～26日(金) 秋季彼岸会
22日(月) 午後1時半 秋季永代経法要
法話: 山崎住職・大谷隆
27日(土) 午後2時 定例聞法会



10月

- 5日(日) 午後2時半 城西ブロック会聞法会
場所: 西徳寺
8日(水) 午後1時半 婦人会聞法会
11日(土) 午後5時半 同行会「和讃」に学ぶ
法話: 大橋 伊知郎
12日(日) 午後2時半 城南ブロック会聞法会
場所: 三茶しゃれなあと
22日(水) 午前10時 仏具磨き
25日(土) 午後2時 定例聞法会
26日(日) 午後2時半 城東ブロック会聞法会
場所: 松戸市民会館

※予定は変更することがあります。詳しくは寺務所までお問合せください。

9月の山門の言葉

人間はそんなに合理的じゃない

経済学者 リチャード・セイラー

コンビニやスーパーのレジ前には、足あとのマークが描かれている。それにならって並ぶ人は多いことだと思う。これは「ナッジ」と呼ばれる理論に基づくもので、経済学者リチャード・セイラー氏が提唱した。ナッジとは「ひじでそつと後押しをする」という意味がある。先の足あとマークは、コロナ禍の「感染防止のために距離を空けて並びましょう」という意図で使われ始めたのだが、長い注意書きよりも足あとマークの方が効果は大きいようで、何とも興味深い。

「本日限定」「残りあとわずか」、こうした宣伝文句もナッジである。私たちは自分の意思決定で行動しているようで、実は周りから何かしらの影響を受けて生きている。その姿を踏まえてか、リチャード氏は「人間はそんなに合理的じゃない」と説く。無駄が無いようにと毎日計算をしながら生きる私。それなのに、気がつけば足あとマークを見て誘導されるように、なぜそういう行動をとったのか説明に困ることがある。

とあるお姑さんが生前、毎日仏壇に座って合掌していた、という話を思い出した。お嫁さんに強制はしないのだが、家の中が忙しくて必ず行い、「何もこんな時にしなくても」と感じていたそうである。しかしお姑さんが逝去され残されてみると、今度は自分自身、なぜだか合掌をしているのだと話してくださった。

お姑さんのお仏壇の前での合掌は合理的なのだろうか。合理的とは、今日では「無駄が無くて効率的」という考えが強いように感じる。しかし、人間はそんなに合理的ではない。大切な人を想い手を合わせ、何かを感じ、一日を過ごす。そうした一生涯もナッジと呼べるであろう。そしてそういう不合理な歴史のもとに、事実私は存在しているにも関わらず、毎日を計算して過ごしているのである。

(高橋淳記)

顧問のカレンダーに聞く

大悲のなかに
大悲のなかに
確かにこの私がいま

Embraced and surrounded by great compassion
—this is where I surely am.

大悲とは如来の大悲であります。大いなる悲しみを困とした願い、それこそが阿弥陀如来の本願のはたらきなのです。

「大悲のなかに、大悲のなかに」と二回繰り返されるのは、深い領きでありましょう。よき人、親鸞聖人の言葉を通して本当の私に領かされるということなのではないでしょうか。

このいのちの中に流れている本当の願い。私、

私と主張する私ではなく、願われている深い深い本当の私。その本当の私に目覚めよと、願いに背く私を悲しみ、叫び続けておられるのです。



うばだいしゃ ～共悩共歩～ テーマ「時代」

優婆提舍(うばだいしゃ)論議の意。
経説等について仏や仏弟子が論議して意味を明らかにしたもの。
(例:浄土論=無量寿経優婆提舍願生偈)

今回は、私が普段お世話になっている美容室スタイリストの三田瑛里佳さんにお話を伺いました。

【美しさとは?】

漫画家・安野モヨコさんの「美人画報」という美容に関するエッセイがあるんですけど、当時の美容は、「表面だけを取り繕う」、「綺麗な部分だけを表に出す」感じが強かった中、安野さんは「痩せたいけど食べたい」という、美に関しては矛盾するけど、女性の本音を交えつつ発信されていて、そこに人間らしさを感じられることが面白く、美容に対する考え方に影響を受けましたね。

【苦い思い出】

実は、パリ・オートクチュールコレクションにヘアメイクで参加した事があるんですけど、当時アジア人初のパリコレのメイクディレクターとして活躍されていた方に、「あなた途中でヘアメイクの練習やめたでしょ?」と指摘され、「途中で練習やめなければ一番だったのに」と言われたんですよ。実際、パリコレ前には、意地とプライドだけで練習に参加していて、突然その力も枯渇してしまい、途中で練習をやめてしまっていたので、言い訳はできませんでした。

世間的には、「パリコレでヘアメイクを担当していた」となると、大きな肩書きにはなるんですけど、個人的にはディレクターに言われた事が心に残り、肩書はあっても中身は空っぽという感じなんです。肩書きがあれば良いという人も多いですけど、やっぱり中身が伴っていないと思うと、納得できなくてプロフィールにも載せていないんですよ。

それでも今の私があるのもその時の経験

があったからだと思っています。

【ファッションと時代】

世界のデザイナーは、その時代の世界情勢や世界へのメッセージをデザインとして落とし込んでいます。例えば、戦争が起こった年は花柄が流行るとか、デザイナーは精神的な側面で願いを込めて、洋服だけは華やかにしようと考えてたりするんですよ。

時代は回って言いますが、ファッションも昔流行ったものが、また流行ったりしますよね。他にも、コロナ禍には世の中を反映して、在宅するために実用的なルームウェアが流行ったりしていました。コロナ禍が過ぎた今、外出する機会が増えるにつれて、きちんとした襟付きの洋服も多くデザインされています。2025年の秋冬ファッションの流行は、世界情勢・経済が元気になって欲しいという願いのもとに、1980年代のバブルで活気があった時代のファッションや、ヘアスタイルが流行るようですよ。

【印象に残ったお客様】

美容人生で最高齢のお客様は100歳になる女性でした。「今から遺影を撮りに行くの!」と明るく元気に仰っておられ、遺影を撮りに行くのにとてもウキウキして帰っていかれた姿がとても印象的でしたし、素敵な人生観だなあと思いましたね。

【プロフィール】

三田瑛里佳 東京都出身

百貨店の化粧品販売を経て、グラビア・ブライダル・コレクション等でヘアメイクとして活動。

その後、化粧品ブランドの立ち上げに携わり、

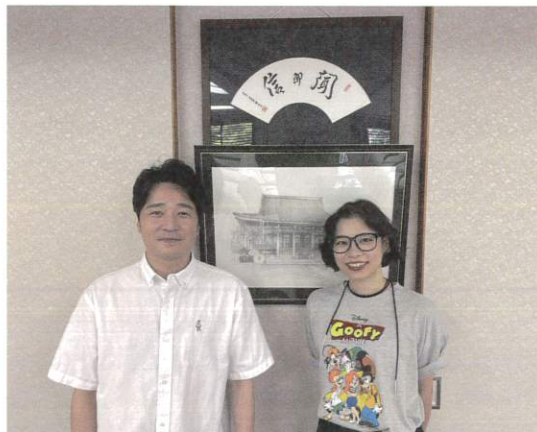
商品開発から店舗運営、教育まで幅広く経験。

美容系法人を設立し、アーティスト契約でヘアケアブランドとも連携。

現在は美容室スタイリストとして働きながら、化粧品メーカーと契約し全国で精力的に活動している。

三田さんには、いつも素敵な髪形にしていたけど、「どこで髪を切ってるの?」と聞かれるほど評判がいいです!インタビューでは、行動力があり様々な経験をされていて、現在の三田さんに「納得!」という感じがしました。人と接するということは大切だと改めて感じさせていただきました。今回は大変お忙しい中、取材を快くお引き受け下さり、本当にありがとうございます。

(聞き手 大橋 伊知郎)



三田さんと聞き手

中央ブロック会

8月3日(日)、中央ブロック会聞法会を西徳寺にて開催いたしました。今回は『歎異抄』第2章を学びました。どれだけ間違いない教えに出会ったとしても、聞く私たちの心は縁によって揺らいでしまう。親鸞聖人はその人間の本性を関東の門弟方に見られたのでしょうか。変わる時代環境の中で変わらない教えとは何かを学ぶ機会となりました。

次回は12月7日(日)
に聞法会を開催予定です。
お誘いあわせの上、ご参加
ください。

(担当：蓮井 邦宗)



燈虹塾セミナーご報告

7月30日に実践女子大学名誉教授である佐藤悟先生をお招きしてお話を伺いました。講題は「吉原とは何か」。江戸吉原を生きる様々な方々はどのような生活をしてたのか、その問いに対して様々な文献を基に教えていただきました。私たちは何となくイメージしている姿とはまるで違う、むしろ現代にも繋がる内容で一生懸命に生きていったのだということを感じさせていただきました。

次回は9月13日(土) 午後1時
より、本堂にて 関東大震災追悼法要
をお勤めすることとなりました。どなたでもお参りいただけます。皆様のお参りをお待ちしております。

(事務局 高橋 淳 記)



佐藤悟先生

千束幼稚園「夕涼み会」

7月22日(火)、台東区立千束幼稚園の夕涼み会が催されました。

6回目となる今年も、多彩な花火とスイカ割りで大盛り上がり。花火遊びが初めてという園児さんも数人いて、貴重な体験のお手伝いできたことを嬉しく思いました。

(坊守 山崎 晴美 記)



秋季永代経法要のご案内

まだまだ残暑厳しい日が続いています。暦の上では立秋を過ぎましたが、秋の訪れはいつになるのでしょうか。

今年も秋のお彼岸の季節がやって参りました。先立って亡くなっていかれた方々をご縁とし、手を合わせる機会をいただく。彼の岸より此の岸を生きている私たちのことを常に案じてくださっている。その心（願い）に出遇う大事な期間ではないでしょうか。お彼岸を縁として、仏様の教えに共に耳を傾けてみませんか。

お墓参りだけでなく、ぜひ本堂にもお参りください。

秋季彼岸会 9月20日(土)～9月26日(金)

秋季永代経法要 9月22日(月) 午後1時半～ 永代経法要

午後2時頃～ 法話 【山崎 哲住職・大谷 隆^{ひろし}】



山崎住職



大谷 隆

ランドマーク 黒壁スクエア

今月は筆者（仲井）が帰省中に伺った、滋賀県長浜市にある観光スポット、「黒壁スクエア」です。

元々長浜は、豊臣秀吉が初めて築いた長浜城の城下町で、楽市楽座によって発展した商業の街です。その長浜にある黒壁スクエアは、明治時代から黒壁銀行の愛称で親しまれていた旧第百三十銀行を改装した

「黒壁ガラス館」を中心に、ガラスショップや工房、ギャラリー、体験教室、レストランやカフェなど、魅力あふれるお店が古い街並の中に点在しています。年間約200万人の観光客が訪れる湖北随一の観光スポットです。

また近くには佛光寺長浜別院や、大通寺（大谷派長浜別院）もあります。ぜひ滋賀県にお越しの際は、長浜にも足を運んでみてはいかがでしょうか。



大通寺（真宗大谷派長浜別院）

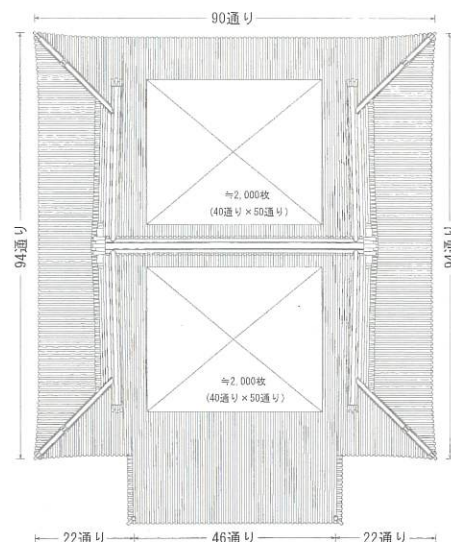
西徳寺本堂 令和大改修

大改修に向けてご尽力いただいておりますこと、心より御礼申し上げます。

「瓦懇志」はご懇志いただいた方のお名前を裏面にお書きし、本堂に葺かせていただきます。葺く場所は右記図面（目安）の通りになります。（順番は原則お申込み順）

また、亡くなった方のお名前でももちろん大丈夫です。生前お世話になった方や、ご縁のある方々にも西徳寺本堂を守っていただければ幸いです。よろしく願いいたします。

西徳寺住職 山崎 哲



えこお志お礼

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

台東区 吉川 明子 様
千葉県 鈴木 秀夫 様
愛知県 西村 知津 様



内愚外賢

～賢者の信を聞きて、愚禿が心を顕す～

今年の夏の高校野球は、広島県代表の広陵高校が、2回戦で出場辞退という異例の事態となりました。昔から体育会系の部活動にはいわゆる“しごき”があるとされてきました。今では時代の変化やSNS等の普及もあり、体罰やしごきは悪しき習慣となっています。

教育の一環として行われている部活動。何を教え、どう育むのか、それが分かりにくくなっている今、ただただ習慣だけが残っている意味がないのでしょうか。宗教やお寺も同じではないかと思えます。個人の感情や価値観ではなく、何を受け取り、何を手渡していくのか。それには原点に帰ることが大切なのだと思えます。

（編集長 仲井 真裕 記）



長浜観光中

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com
🌐 <http://saitokuji.tobihiro.jp/>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook